



京都を見守る塔

「塔」の起こりは、釈迦の仏舎利(遺骨)を納めたストウーパだと言われ、寺の建築物の中でも特に重要なものでした。平安時代から、京都で建立された寺にはさまざまな塔が建てられたようです。中には焼失したものもあり、現存するものは少ないですが、堂々とした美しい姿を今も見ることができます。



東寺 五重塔(国宝)

高さ約55m。空海が建立した東寺にあり、現在、日本で最も高い木造の塔。新幹線からも見えることでおなじみの京都のランドマークです。



醍醐寺 五重塔(国宝)

高さ38m。豊臣秀吉の開いた「醍醐の花見」で有名な醍醐寺にそびえる五重塔。平安時代の建築で、京都にある木造の塔で最も古いといわれています。



かいじゅうせんじ
海住山寺 五重塔(国宝)

高さ17.7m。京都府南部の南山城にある海住山寺の五重塔。鎌倉時代のもので唯一残ります。



清水寺 三重塔(重文)

高さ31m。全体が朱色に塗られた本瓦葺の建物で、三重塔としては日本最大級。古くから清水寺のシンボリックな存在です。



じょうるりじ
浄瑠璃寺 三重塔(国宝)

高さ16m。小ぶりな塔ですが、平安時代の木造建築物。京都と奈良の境にある浄瑠璃寺は九体寺とも呼ばれ九体の阿弥陀仏坐像があります。

今では見られない
幻の塔

◆法勝寺 八角九重塔

白河上皇が、現在の京都市動物園のあたりに法勝寺を建立し、高さ約81mの八角九重塔を造りました。1342年に焼失。

◆相国寺 七重塔

足利義満が相国寺東南の地に建立。高さは約109mと東寺の五重塔の約2倍だったといわれています。1470年に焼失。



■出版社:あさ出版
■定 価: 1,760円(税込)

これ 1 冊でわかる! 相手が納得する!

中小企業の 「値上げ」入門

価格交渉が中小メーカーの生き残りを左右する!

なぜ、あの会社は相手も納得してうまく値上げ交渉できたのかー。

本書は「中小企業も値上げのための実務書」として、以下の点に軸足を置いています。

- *値上げすべき、製品や顧客の優先順位の見極め方
- *値上げしやすい製品、顧客の見極め方
- *パターン別具体的な値上げ交渉の進め方
- *利益重視の考え方を社内に定着させる方法

値上げ交渉をする際、全製品・全顧客に対して一律に交渉を行うことは現実的ではありません。そこでまず考えるべきなのは、値上げしやすい製品はどの製品か、値上げしやすい顧客はどの顧客かを見極め、値上げ交渉の優先順位をつけることです。その際に肝心なことは、社内に売上至上主義ではなく利益至上主義が根付いていること。これができていないと値上げ交渉は迷走し暗礁に乗り上げかねません。

中小企業のための、値上げによって利益を確保する新たな企業努力の形を、豊富な具体例に基づき解説し、提案する 1 冊です。



著者 北島 大輔

株式会社新経営サービス
経営支援部シニアコンサルタント

【本書の内容】

- CHAPTER I 値上げ交渉を受けてわかった
～取引先が値上げを承認するときの意思決定メカニズム
- CHAPTER II 優先的な値上げと劣後の値上げの見極め方
～値上げ緊急度の高い製品と顧客を正しく判別する方法
- CHAPTER III 本当に値上げできるのか？
～製品・顧客別に値上げ難易度の検討をつける方法
- CHAPTER IV いくら値上げすればよいのか？
～製品ごとの適正価格の設定方法
- CHAPTER V 値上げ交渉8つのシナリオと交渉ステップ

<あとがき>

葵祭は正式には「賀茂祭」といわれ、平安王朝の装束に葵の葉を飾った行列が行われます。あの源氏物語でも祭の場面が語られ、当時から大変にぎわって賑わっていたようです。紫式部や清少納言も見ていたものが今も続いているんですね。(木下)

発行 株式会社新経営サービス

〒600-8102 京都市下京区河原町五条西入本覺寺前町830 京都EHビル6F
TEL 075-343-0770 FAX 075-343-4714
URL: <https://www.skg.co.jp> E-mail: mas@skg.co.jp